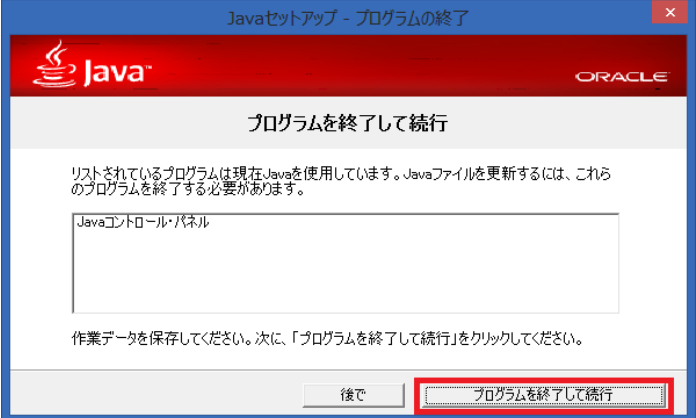
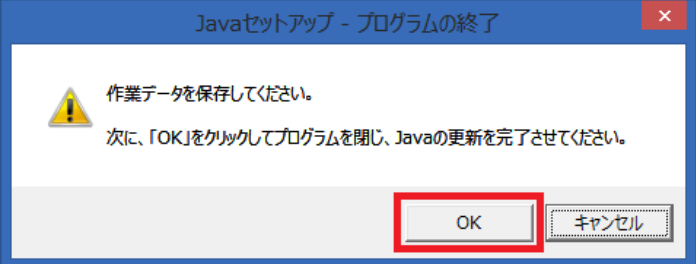
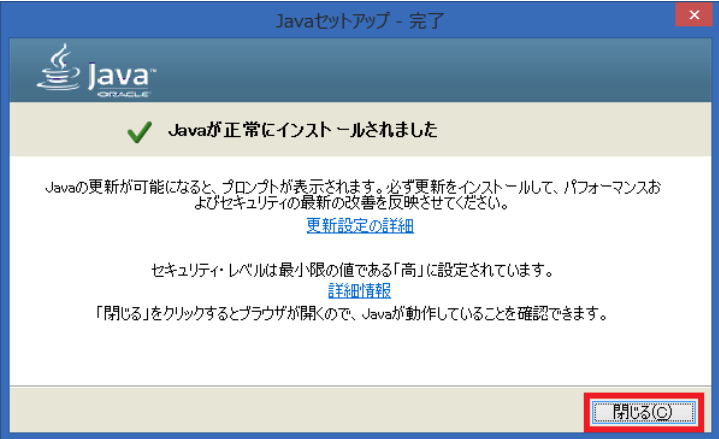
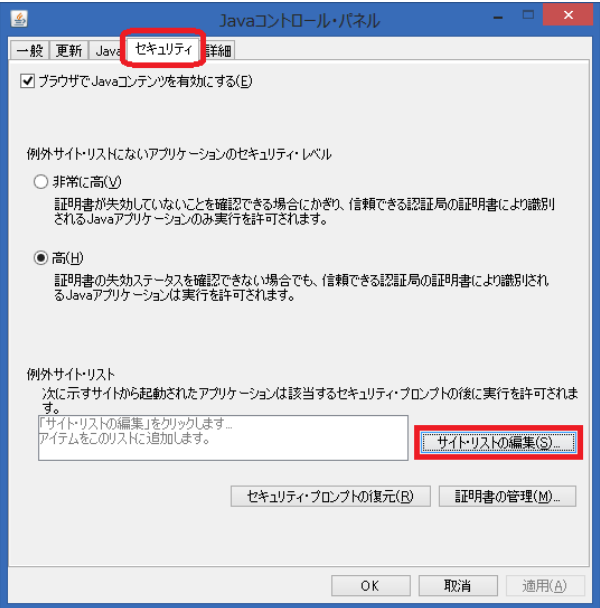
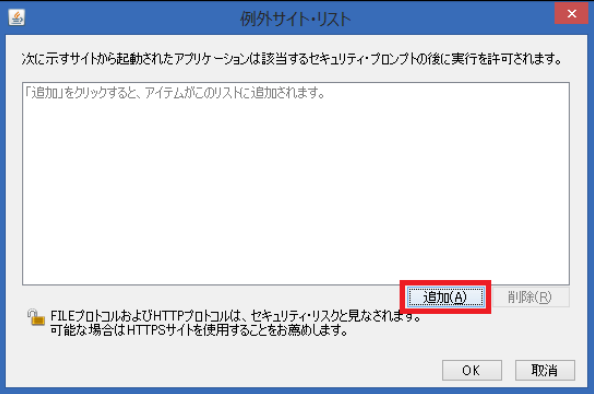
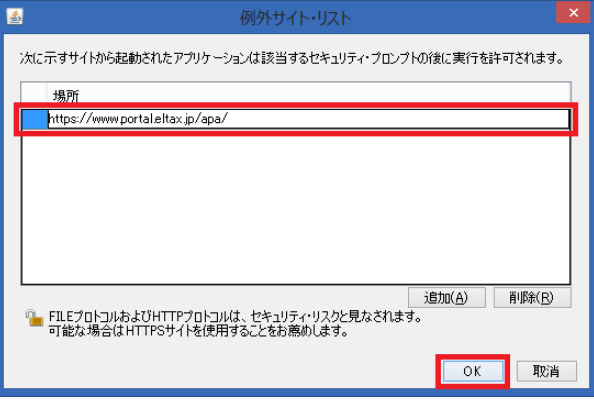
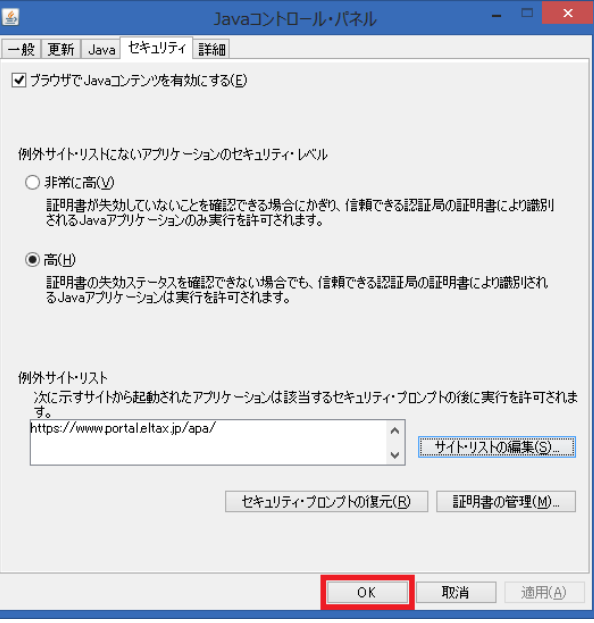


JavaX から Java8Update51 へのバージョンアップ方法

	画面	説明
1		<p>Java のバージョンの確認方法 コントロールパネルを開いて「プログラムと機能」をクリックします。</p> <p>【コントロールパネルの開き方】 Windows7・Server2008 : スタート→コントロールパネルを選択。 Windows8・Windows8.1・Server2012 : デスクトップ画面で右クリック→個人設定を選択→画面左上のコントロールパネルホームを選択。</p>
2		<p>「Java7UpdateXX」が一覧にある場合は、セキュリティ対策の観点上、Java8 にバージョンアップする必要があります。</p>
3		<p>コントロールパネルを開いて「Java (32 ビット)」をクリックします。</p>

4	 <p>Java Updateメカニズムを使用すれば、最新版のJavaプラットフォームを確実に入手することができます。以下のオプションを設定することで、最新版の取得方法や適用方法に関する処理を制御することができます。</p> <p>通知: <input type="text" value="ダウンロード前"/></p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 更新を自動的にチェック <input type="button" value="拡張(D)..."/></p> <p>Java Updateは少なくとも週に1回、日曜日の20:00に最新版を確認します。更新が推奨される場合はシステム・タスクバーの通知領域にアイコンが表示されるので、カーソルをアイコン上に移動して状況を確認します。最新版がダウンロードされる前に通知されます。</p> <p>通常、更新はリリースされてから1か月以内に通知されます。ただし、更新がクリティカルと見なされる場合は、リリースされてから1週間以内に通知されます。</p> <p>Java Updateが最後に実行されたのは15/04/04の8:44です。</p> <p><input type="button" value="今すぐ更新(U)"/></p> <p><input type="button" value="OK"/> <input type="button" value="取消"/> <input type="button" value="適用(A)"/></p>	更新タブの画面下部にある「今すぐ更新」をクリックします。
5	 <p>ユーザー アカウント制御</p> <p>次のプログラムにこのコンピューターへの変更を許可しますか？</p> <p>プログラム名: Java Auto Updater 確認済みの発行元: Oracle America, Inc. ファイルの入手先: このコンピューター上のハードドライブ</p> <p><input checked="" type="radio"/> 詳細を表示する(D) <input type="button" value="はい(Y)"/> <input type="button" value="いいえ(N)"/></p> <p>これらの通知を表示するタイミングを変更する</p>	「はい」をクリックします。
6	 <p>Java Update - 更新を利用可能</p> <p>Java Update利用可能</p> <p>Java 8 Update 45をインストールする準備が整いました。更新をインストールすると、Javaの前のバージョンがアンインストールされる場合があります。続行するには、インストール ボタンをクリックしてください？</p> <p><input type="button" value="インストール"/> <input type="button" value="後で"/></p>	「インストール」をクリックします。
7	 <p>Javaセットアップ - ようこそ</p> <p>Javaへようこそ</p> <p>Javaを使用すると、驚くべきJavaコンテンツの世界に安全かつセキュアにアクセスできます。ビジネス・ソリューションから有用なユーティリティやエンターテインメントまで、様々な分野でJavaはあなたのインターネット体験を豊かにします。</p> <p>注意: インストール・プロセスで個人情報が収集されることはありません。 ここをクリックすると、収集される情報について確認できます。</p> <p>ライセンス契約に同意してJavaのインストールを今すぐ開始するには、「インストール」をクリックします。</p> <p><input type="checkbox"/> 宛先フォルダを変更する <input type="button" value="取消"/> <input type="button" value="インストール(I) >"/></p>	「インストール」をクリックします。

8		<p>『プログラムを終了して続行』画面が表示されます。</p> <p>Java コントロールパネルを閉じて、「プログラムを終了して続行」をクリックします。</p>
9		<p>「OK」をクリックします。</p>
10		<p>「閉じる」をクリックします。</p> <p>Java のバージョン確認画面が表示された場合は、右上の「×」ボタンで閉じてください。</p>
11		<p>コントロールパネルを開いて「Java (32ビット)」をクリックします。</p> <p>セキュリティタブを選択して、「サイト・リストの編集」ボタンをクリックします。</p>

12	 <p>例外サイト・リスト</p> <p>次に示すサイトから起動されたアプリケーションは該当するセキュリティ・プロンプトの後に実行を許可されます。</p> <p>「追加」をクリックすると、アイテムがこのリストに追加されます。</p> <p>FILEプロトコルおよびHTTPプロトコルは、セキュリティ・リストと見なされます。 可能な場合はHTTPSサイトを使用することをお勧めします。</p> <p>追加(A) 削除(B)</p> <p>OK 取消</p>	「追加」をクリックします。
13	 <p>例外サイト・リスト</p> <p>次に示すサイトから起動されたアプリケーションは該当するセキュリティ・プロンプトの後に実行を許可されます。</p> <p>場所</p> <p>https://www.portal.eltax.jp/apa/</p> <p>追加(A) 削除(B)</p> <p>FILEプロトコルおよびHTTPプロトコルは、セキュリティ・リストと見なされます。 可能な場合はHTTPSサイトを使用することをお勧めします。</p> <p>OK 取消</p>	https://www.portal.eltax.jp/apa/ と入力して「OK」をクリックします。
14	 <p>Javaコントロール・パネル</p> <p>一般 更新 Java セキュリティ 詳細</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> ブラウザでJavaコンテンツを有効にする(E)</p> <p>例外サイト・リストにないアプリケーションのセキュリティ・レベル</p> <p><input type="radio"/> 非常に高(V)</p> <p>証明書が失効していないことを確認できる場合にかぎり、信頼できる認証局の証明書により識別されるJavaアプリケーションのみ実行を許可されます。</p> <p><input checked="" type="radio"/> 高(H)</p> <p>証明書の失効ステータスを確認できない場合でも、信頼できる認証局の証明書により識別されるJavaアプリケーションは実行を許可されます。</p> <p>例外サイト・リスト</p> <p>次に示すサイトから起動されたアプリケーションは該当するセキュリティ・プロンプトの後に実行を許可されます。</p> <p>https://www.portal.eltax.jp/apa/</p> <p>セキュリティ・プロンプトの編集(S)</p> <p>セキュリティ・プロンプトの復元(B) 証明書の管理(M)...</p> <p>OK 取消 適用(A)</p>	「OK」をクリックします。 コントロールパネルを閉じます。 以上でバージョンアップと設定は完了です。